

主日礼拝

2023年2月5日
午前10時30分前奏 トリオソナタ4番より2楽章「アンダンテ」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「1ハレルヤ。

わたしたちの神をほめ歌うのはいかに喜ばしく
神への賛美はいかに美しく快いことか。

2主はエルサレムを再建し

イスラエルの追いやられた人々を集めてくださる。

3打ち砕かれた心の人々を癒し

その傷を包んでくださる。」 (詩編147:1~3)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ち ちと み子に



グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父
なる神の右に坐したまへり、かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。

アーメン

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは み名をあげさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。

アーメン。

聖書 ルカによる福音書 8:4~15

新約(新共同訳) p118

4 大勢の群衆が集まり、方々の町から人々がそばに来たので、イエスはたとえを用いてお話しになった。

5 「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。6 ほかの種は石地に落ち、芽は出たが、水気がないので枯れてしまった。7 ほかの種は茨の中に落ち、茨も一緒に伸びて、押しつぶさってしまった。8 また、ほかの種は良い土地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ。」イエスはこのように話して、「聞く耳のある者は聞きなさい」と大声で言われた。

9 弟子たちは、このたとえはどんな意味かと尋ねた。

10 イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密を悟ることが許されているが、他の人々にはたとえを用いて話すのだ。それは、

『彼らが見ても見えず、

聞いても理解できない』

ようになるためである。」

11 「このたとえの意味はこうである。種は神の言葉である。12 道端のものとは、御言葉を聞くが、信じて救われることのないように、後から悪魔が来て、その心から御言葉を奪い去る人たちである。13 石地のものとは、御言葉を聞くと喜んで受け入れるが、根がないので、しばらくは信じて、試練に遭うと身を引いてしまう人たちのことである。14 そして、茨の中に落ちたのは、御言葉を聞くが、途中で人生の思い煩いや富や快樂に覆いふさがれて、実が熟するまでに至らない人たちである。15 良い土地に落ちたのは、立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人たちである。」

賛美 53 (1,3,4) 「神のみ言葉は」

Almighty God, your Word is cast
詞：John Cawood, 1775-1852

ST. FLAVIAN
曲：Psalter, 1562

① か み の み こ と ば は こ の せ か い に
② あ く ま に み こ と ば う ば わ れ ぬ よ う ▶
③ し れ ん の い ば ら の は ば む と き も
④ み こ と ば は そ だ ち、地 に ひ ろ が り、▶

ま か れ て め ば え る た ね の よ う だ。
▶ こ こ ろ に ね づ か せ、そ だ て て ゆ け。
ま け ず に そ だ て よ、み の る 日 ま で。
▶ へ い わ と よ ろ こ び み ち あ ふ れ る。

- ① 神のみ言葉は この世界に
蒔かれて芽生える 種のように。
② 悪魔にみ言葉 奪われぬよう
心に根づかせ、育ててゆけ。
③ 試練の茨の 阻むときも
負けずに育てよ、笑る日まで。
④ み言葉は育ち、地に広がり、
平和とよろこび 満ちあふれる。

説教 「実を結ぶ種」

聖餐式

賛美 412 (1,3,4) 「昔 主イエスの」

詞：由木謙、1896-1985

TRIUMPH NO.2
曲：W. H. Vibbert, 1839-?

む か し 主 イ エ ス の ま き た ま い し、
い と も ち い さ き い の ち の た ね。
め ば え そ だ ち て 地 の は て ま で、
そ の え だ を は る き と は な り ぬ。

- ① 昔主イエスの 蒔きたまいし、
いとちいさき いのちの種。
芽生え育ちて 地の果てまで、
その枝を張る 樹とはなりぬ。
② 歴史のながれ 旧きものを、
帰らぬ過去へ 押しやる間に、
主イエスの建てし 愛の国は、
民より民へ ひろがりゆく。
③ 時代の風は 吹きかけりて、
思想の波は 騒ぎたどど、
すべてのものを 越えてすすむ
主イエスの国は 永久に栄えん。
④ 父なる神よ、み名によりて
世界の民を ひとつとなし、
地の果てまでも み国とする
約束を、いま果たしたまえ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「フーガ ト短調」 (J.S.バッハ)

司式 山野上 純子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

【誕生会のリタニー】

司式者：神さまは、2月生まれの方々に
誕生日を与えてくださいました。
いのちをくださる神さま、
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまは、生まれてから今日まで、
この方々の成長を支えてくださいました。
育ててくださる神さま
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまは、どんなときにもいっしょに
いてくださいます。
守ってくださる神さま
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまからの愛のプレゼント、
2月生まれの方々の誕生日を
みんなで喜びお祝いします。

祝福のお祈り 牧師